

お茶高 人気教師に聞く!

「好きな授業」についても調査を行い、「〇〇先生の〇〇（科目名）」という形で回答してもらつた。回答は学年が上がるにつれてぱりつきが見られ、学習が進むと色々さまざまな科目に興味を持ち、学ぼうとしている様子が窺える。結果は学年ごとに集計し、各学年で一番人気のある授業をなさる先生にお話を聞いた。

一年生

一年生の中で最も人気があったのは千葉裕一郎先生の地学の授業だった。適度に雑談を交えた生徒を飽きさせない授業や、センター試験の過去問の配布などの心配りに選ばれた理由があるようだ。しかし先生は今アメリカにいらっしゃることで、次の号での特集というところになつた。

代わりに、ある一年生から寄せられた千葉先生の授業についての感想を紹介する。「先生の授業は一言でいえばとても面白い。所謂地層年代や地殻変動などは部活に勉強やら悉くやらに忙しい女子高校生らにどうてはあまり好き好む内容ではなく、むしろ机に立った教科書の影に隠れて内職をする、もしくは寝つ伏す。等という作業に従事する科目になりがちなのではなく私は思います。しかし、そうさせないのが先生の敏腕教師っぷりなのです。良心的な授業やテスト不出題傾向にも人気の秘密はあるんじゃないでしょうか。」

二年生

荻原万紀子先生（国語）

じほ何ですか。

私は、固く言つてしまえば、古典の普遍性つまり、昔の本の中に出でてくる人だからといって、それが自分たちとは違う人間ではない、要するに私たちと同じように感じ、考え、泣き笑い、ということをしている。それを味わつてほしい、というのが一番大きい目的なので、それを大事にしています。

現代文の授業の時も、そつなのです。古典は古いものじゃないですか。だからどうしても、現代の人には異次元の世界と受け取られるかもしれません。だからこそ、それだけでも面白いいな、と思うので、そこは均すように心がけています。現代文はもうと楽に入つてしまますね。

そうは言つても（古文を）読解する力をつけてもらわなくてはならないので、いかにそこを皆に頑張つてもらえるか、といつて、予習課題を出したり、なるべく、その場でも文法を考えもらつたりするようにしています。隣の人と話し合う時間がありますよね。それが、感想の所だけではなくて文法の所も今回入れてみて。どうかなあと思つていたんですけど、よく話し合つているようだから、それで理解が進むなんといふ思いです。

——先生は、何故国語教師を志したのでしょうか。

やっぱり自分が好きだったからではないでしょうか。私は中学生くらいの時は歴史の勉強をしたいと思っていたんですよ。でも、多分万葉集をきっかけに文学の方に入つ

て、高校生の時には文学をやりた

い気持ちの方が強くなつた。

勉強

を覚えていた。

早い段階で、早く大学生になりたい

と思っていた。

苦手な教科をわざ

りやすく教えてくれた先生は好き

だった。古文の先生は男性だった

が、オネエが入つて男女の恋

愛を艶めかしく語ってくれたこと

を覚えていた。

中学時代は理科の先生に間違

てから靈長類とかエネルギー保存の法則とか、その辺のことをわざと勉強したりました。ちょっとしたのですが、ちょっとしたんですけど、ちょっとしたのが役に立つた。でもそれが一年で潰れてしまつたので、結局やらなかつたんですね。でも高校時代に何かやらないかという思いはあったので、日記を毎日書くとか、「一日一首短歌を詠んでみる」とか、「自作」はできませんでしたが、大したことはしなかつたけれども、でもそういう気持ちを持っていました。自分は偉かつたな、と思います。

——先生が感じる国語の魅力って何なんでしょうか。

私たちは日本語を使わずに生きていけませんよね。だから、それをいつまでも豊かに、もちろん正確に、使い味わえればそれに越されだつたらより豊かに、もちろん生きていけます。

——先生が感じる国語の魅力って何なんでしょうか。

私たちには日本語を使わずに生きていけます。

——先生の古文の授業が二年生に

満足

です。

最初に言つたように、私は普通

性

というのを感じてほしい。

考へてもほしい。ただ、それを味わつてもらえるように努力はして

いるけれども、どうしても古文と

いうのは自己学習無しでは辛いの

方針であるいろいろな科目を

万遍なく学ぶということは大切

だが、週に二時間しかないのは

残念だ。本当は文化、芸術作品

をとりあげた授業など、もっと

深くしていくんだけど。

——高校時代は、同好会しかな

くつ。でもそれが一年で潰れてしまつたので、結局やらなかつたんですね。でも高校時代に何かやらないか

か、という思いはあったので、日

記を毎日書く

とか、「一日一首短歌を

詠んでみる

とか、「自作」はできま

せん。でもそれが一年で潰れてしまつたので、結局やらなかつたんですね。でも高校時代に何かやらないか

か、という思いはあったので、日

記を毎日